

授業科目名 <英訳>	ジェンダーと科学 Gender and Science			担当者氏名	文学研究科 教授 伊藤 公雄	生態学研究センター 准教授 奥田 昇	東南アジア研究所 教授 速水 洋子	総合生存学館 特定教授 塩田 浩平	薬学研究科 特定准教授 瀬木 恵里	附属病院 助教 栗屋 智就	人文科学研究所 教授 田中 雅一	女性研究者支援センター 特定教授 犬塚 典子	地域研究統合情報センター 准教授 帯谷 知可	アジア・アフリカ地域研究研究科 助教 近藤 史
					群	拡大群	系列	人社系	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール
開講期	前期	受講定員	10人	配当学年	1回生	対象学生	全学向							
曜時限	火5			教室	女性研究者支援センター(医・薬・病院構内)									
キーワード	ジェンダー / セックス / 性別役割分担													
【授業の概要・目的】														
自然科学とともに、社会科学・人文科学を含む学際的な視点から、ジェンダー問題について多面的に考察を加える。講師のレクチャーおよび討論を通じて、ジェンダーについての基礎知識や考え方を身につけることを目的とする。														
【授業計画と内容】														
<p>以下のような課題について、1課題あたり1～2週の授業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポケゼミの目的について、ジェンダー研究の歴史と意義（伊藤 公雄） ・動物の性差と性淘汰、動物の子育てと雌雄の対立（奥田 昇） ・ジェンダーと文化人類学（速水 洋子） ・性の決定メカニズムについて（塩田 浩平） ・身体の性と脳の性（瀬木（西田） 恵里） ・脳の発達と性差（栗屋 智就） ・セクシュアリティと文化人類学（田中 雅一） ・ジェンダーと教育，科学技術政策における男女共同参画（犬塚 典子） ・中央アジアの女性解放運動 その歴史と現在（帯谷 知可） ・アフリカ女性の生き方から学ぶ（近藤 史） ・総合討論とまとめ 														
【履修制限の方法】														
受講定員を超える受講申込があった場合は無作為に抽選を行います。														
【履修要件】														
特になし														
【成績評価の方法・基準】														
講師によるレクチャーとともに、討論の時間を設ける。成績評価は、出席および授業態度による。														
【教科書】														
使用しない														
【参考書等】														
（参考書） 授業中に紹介する														
【その他（授業外学習の指示・オフィスアワー等）】														